

## アルゼンチン定期報告（内政・外交：2007年10月）

### I. 概要

(1) 28日に大統領選挙、議会選挙、8州（ブエノスアイレス州、メンドサ州、サルタ州、ミシオネス州、フファイ州、フォルモサ州、ラパンパ州及びサンタクルス州）の知事選挙が実施され、大統領選挙では、与党キルチネル派「勝利のための戦線」のクリスティーナ・フェルナンデス候補が、45.3%の票を獲得し当選した他、議会選挙では、「勝利のための戦線」が議席を拡大し、8州の州知事選挙では、キルチネル派の候補がそれぞれ当選を果たした。

(2) 外交面では、フェルナンデス大統領候補がブラジルを、タイアナ外相がチリ、イタリア及びウルグアイを、ガレ国防相がチリを訪問した他、ボエル欧州委員（農業・農村開発担当）が訪亜し、タイアナ外相との間で、経済協力拡大のための合意書に署名した。

### II. 内政

#### 1. 大統領選挙

(1) 28日、亜で大統領選挙、議会選挙（上院24議席の改選及び下院130議席の改選）、8州（ブエノスアイレス州、メンドサ州、サルタ州、ミシオネス州、フファイ州、フォルモサ州、ラパンパ州及びサンタクルス州）の知事選挙等が実施された。

(2) 大統領選挙は14候補により争われたが、45.29%の票を獲得した与党キルチネル派「勝利のための戦線」のクリスティーナ・フェルナンデス・デ・キルチネル候補が、第2位のカリオ候補に約22ポイントの大差をつけて当選した。

（注：亜憲法は、大統領選挙の第1回投票で当選を確定するためには、（イ）第1位の候補が有効投票数の45%以上を獲得した場合（第97条）、（ロ）第1位の候補が有効投票数の40%以上を獲得し、かつ、第2位の候補との得票率の差が10%以上である場合（第98条）である旨規定している。）

（注：大統領選挙への登録を行った人民忠誠同盟（ムッサ大統領候補、ネスプラル副大統領候補）は、大統領選挙への出馬を可能とする政党の要件（全国で5以上の地域（23州及び連邦首都区）で活動する全国政党でなければならない）を満たしていないとして、一旦、選挙裁判所により登録を取り消されたが、同党の異議申し立てにより、10月4日、登録が承認されたため、最終的に、正副大統領候補は14組となった。）

(3) 上位4候補の得票率は以下のとおり（有権者数：2,709万0,192名、投票率：71.76%）。

正・副大統領候補者名（政党乃至選挙連合名）	得票率
第1位：フェルナンデス-コボス候補（勝利のための戦線）	45.29%
第2位：カリオ-ジウスティニア-ニ候補（市民連合）	23.04%

第3位：ラバーニャーモラレス候補（前進する国家のための連合） 16.91%

第4位：ロドリゲス・サア-マヤ候補（正義・団結・自由戦線） 7.64%

（4）28日午後10時頃（開票率約14%の時点）、フェルナンデス候補は、「勝利のための戦線」の選挙対策本部において、「我々は、大きな勝利を収めた。恐らく第1位候補と第2位候補の得票率の差は、（1983年の）民政復帰以降、最大のものとなるだろう。これ（我々の勝利）は、我々により大きな責任と義務を強いるであろう。今後は、2003年に始まった変革を深化させていきたい」旨述べ、勝利宣言を行った。

（5）他方、カリオ候補は、開票率が50%に達した29日午前1時半頃、「市民連合」の選挙対策本部において、「開票結果の動向は、不可逆的である」旨述べ、フェルナンデス候補の勝利を認め、敗北宣言を行った上で、「我々は、今次選挙で大きな勝利を得、亟で第2位の勢力となった。ブエノスアイレス市では、大差で（フェルナンデス候補に）勝利し、サンタフェ州では、ほぼ引き分けた。また、ロサリオ市、マルデルプラタ市等の大都市で素晴らしい結果を得ることができた」等述べ、今次選挙結果に満足の意を表した。

## 2. 議会選挙

（1）28日、議会選挙（上院24議席の改選及び下院130議席の改選）が行われ、与党「勝利のための戦線」が議席を拡大し、本年12月10日の議会改選後、両院で単独過半数を占めることとなる。

（2）議会改選前後の主要政党・会派別議席配分は以下のとおり（注：今次議会選挙の公式結果が、未だ内務省から公表されていないため、以下は10月30日付当地ラナシオン紙に掲載された議席数に基づくものである）。

政党・会派名	上院（72議席）		下院（257議席）	
	改選前	改選後	改選前	改選後
勝利のための戦線	40	41	111	137
ペロン党以外のキルチネル派	4	7	34	24
急進党	15	9	36	28
市民連合・共和国平等党	1	5	14	25
共和国提案			11	11
社会党	1	1	5	10
ペロン党反キルチネル派	4	4	6	6
前進する国家のための連合			11	4
その他	7	5	29	12

## 3. ブエノスアイレス州知事選挙

（1）28日、ブエノスアイレス州（全国の有権者数の約37.1%、全国1位）の知

事、副知事、市長（134の市）、州議会議員（上院23議席・下院46議席の改選）等の選挙が実施された。

（2）知事選挙は15候補により争われたが、「勝利のための戦線」のダニエル・シオリ候補（副大統領、ペロン党）が、48.10%の票を獲得し、第2位の「市民連合」のマルガリータ・ストルビセル候補（急進党幹事長）に約32ポイントの大差をつけて当選した。

主な州知事候補の得票率は以下のとおり（開票率94.68%時点）。

第1位：ダニエル・シオリ候補（勝利のための戦線）	48.10%
第2位：マルガリータ・ストルビセル候補（市民連合）	16.59%
第3位：フランシスコ・デ・ナルバエス候補（連合-共和国提案）	14.90%
第4位：リカルド・アルフォンシン（急進党）	5.09%
第5位：ホルヘ・サルギーニ候補（公正社会）	2.86%

#### 4. メンドサ州知事選挙

（1）28日、メンドサ州（全国の有権者数の約4.2%）の知事、副知事、市長（18の市）、州議会議員（上院19議席・下院24議席の改選）等の選挙が実施された。

（2）知事選挙は主要2候補による一騎打ちとなったが、ペロン党のセルソ・ハケ候補（上院議員）が、37.85%を獲得し、30.02%を獲得した急進党キルチネル派「市民協調」のセサル・ビフィ候補（メンドサ市長）に約8ポイントの差をつけて当選した。

なお、デビド公共事業相、フェルナンデス内相及びゴンサレス・ガルシア厚生相は、ハケ候補を支持した一方で、コボス・メンドサ州知事（与党副大統領候補）及びフェルナンデス首相は、ビフィ候補を支持していた。

#### 5. サルタ州知事選挙

（1）28日、サルタ州（全国の有権者数の約2.8%）の知事、副知事、市長（59の市）、州議会議員（上院11議席・下院30議席の改選）等の選挙が実施された。

（2）知事選挙は主要2候補による一騎打ちとなったが、29日、同州選挙管理委員会は、最終暫定結果（開票率96.60%）に基づき、「勝利のための戦線-刷新党」のファン・ウルトゥベイ候補（下院議員、ペロン党）が、45.49%を獲得し、44.65%を獲得したロメロ現知事が支持する「勝利のための正義戦線」のワルテル・ワジャル候補（副知事、ペロン党）に約0.8ポイント（4,277票）の僅差で当選した旨を発表した。

なお、11月8日、最終集計結果が発表され、ウルトゥベイ候補の当選が確定した。

## 6. ミシオネス州知事選挙

(1) 28日、ミシオネス州（全国の有権者数の約2.5%）の知事、副知事、市長（75の市）、州議会議員（20議席の改選）等の選挙が実施された。

(2) 知事選挙は10候補により争われたが、ロビラ現知事が支持する「融和刷新戦線」のマウリセ・クロス候補（上院議員、キルチネル派）が、38.38%を獲得し、29.14%を獲得した「勝利のための戦線」のパブロ・ティルチ候補（副知事、ペロン党）に約9ポイントの差をつけて当選した。

## 7. フファイ州知事選挙

(1) 28日、フファイ州（全国の有権者数の約1.5%）の知事、副知事、市長（21の市）、州議会議員（24議席の改選）等の選挙が実施された。

(2) 知事選挙は9候補により争われたが、フェルネル現知事から支持を得た「勝利のための戦線」のワルテル・バリオヌエボ候補（副知事、ペロン党）が、35.84%を獲得し、29.99%を獲得したカルロス・スノペク候補（フファイ第一戦線、ペロン党、下院議員）に約6ポイントの差をつけて当選した。

## 8. フォルモサ州知事選挙

(1) 28日、フォルモサ州（全国の有権者数の約1.2%）の知事、副知事、市長（27の市）、州議会議員（15議席の改選）等の選挙が実施された。

(2) 知事選挙は7候補により争われたが、ペロン党のギルド・インスフラン候補（現知事）が、72.75%を獲得し、12.64%を獲得したルイス・ナイデノフ候補（政治社会連合）に圧勝し、再選を果たした。

## 9. ラパンパ州知事選挙

(1) 28日、ラパンパ州（全国の有権者数の約0.8%）の知事、副知事、市長（79の市）、州議会議員（全26議席の改選）等の選挙が実施された。

(2) 知事選挙は主要2候補による一騎打ちとなったが、ペロン党のオスカル・ホルヘ候補（ラパンパ州立銀行総裁）が、47.26%を獲得し、32.46%を獲得したファン・マリノ候補（市民社会パンパ戦線、上院議員）に約15ポイントの差をつけて当選した。

## 10. サンタクルス州知事選挙

(1) 28日、サンタクルス州（全国の有権者数の約0.6%）の知事、副知事、市長（14の市）、州議会議員（24議席の改選）等の選挙が実施された。

(2) 知事選挙は主要2候補による一騎打ちとなったが、「サンタクルス州勝利のための戦線」のダニエル・ペラルタ候補（現知事、ペロン党）が、58.21%を獲得し、

38. 75%を獲得した急進党が支持するエドゥアルド・コスタ候補（成長するための変革）に約19ポイントの差をつけて当選した。

### 11. 軍政期の人権侵害を扱う記念館の創設

3日、ガレ国防相は、ブエノスアイレス市内のESMA（軍事政権（1976～83年）下で反体制活動家の収容所となっていた海軍機械学校）において、ESMA引渡し式典を開催し、同敷地内に記念館を創設することを目的に、ESMA建物及び敷地が、亜海軍から政府・ブエノスアイレス市の共同委員会及び亜人権団体（拘留者・行方不明者協会、5月広場の母達・祖母達等）の暫定委員会に引き渡された。

### 12. 軍政期の人権侵害に関与した聖職者への有罪判決

(1) 9日、ブエノスアイレス州ラプラタ市連邦裁判所（下級審）は、軍政期に7件の殺人及び34件の誘拐・拷問に共犯し、自由の不法剥奪に関与した疑いで起訴されていたボン・ウェルニッチ司祭（軍政期のブエノスアイレス州警察の聴罪司祭で、軍政期のラモン・ Kampus 同州警察長官の下で行われた人権侵害行為に加担していたと見られている）に対し、同司祭が犯した人権侵害行為は、亜で行われたジェノサイドの枠組みの中の人道に対する罪に相当する等として、終身刑及び司祭の地位剥奪を命じる有罪判決を下した。

(2) なお、2005年6月に、最高裁判所により終結法（1986年制定）及び服従法（1987年制定）の免責二法が違憲とされて以降、ボン・ウェルニッチ司祭は、軍政期の人道に対する罪で有罪判決の対象となった初めての聖職者となった。

## III. 外交

### 1. ブラジル

(1) 3日、クリスティーナ・フェルナンデス大統領候補（上院議員、大統領夫人）は、タイアナ外相等を帯同し、ブラジリアを訪問し、ルーラ大統領夫妻等と昼食を共にした。同昼食会で、フェルナンデス大統領候補は、メルコスール強化への強い関心を示し、エネルギー分野での統合の緊急性を強調した。

(2) また、フェルナンデス大統領候補は、伯外務省イタマラティ宮殿において、亜に関心のある伯企業10数社等と会合を行い、同会合で、亜の経済成長と伯の投資・産業潜在力を連結する必要性等について述べ、同企業等に対し、亜に投資するよう求めた。

### 2. チリ

#### (1) タイアナ外相

(イ) 8日、第8回ビアリッツ・フォーラム（注：ラ米・EUの緊密化を目的としたフォーラム）に出席するためチリを訪問したタイアナ外相は、フォックスレイ外相と会談

を行った。

(ロ) 両外相は、同会談で、両国間のインフラ整備、亜・チリ共同平和軍 (FPC:Fuerza de la Paz Combinada) である「南十字星 (Cruz del Sur)」の始動の試み、国連ハイチ安定化ミッションのマンデート延長、国連及び米州機構 (OAS) 等のマルチ協力メカニズムの強化、マルビーナス諸島領有権問題等について協議を行い、二国間・地域統合のプロセス強化を見据え、引き続き協力していくことを再確認した。

#### (2) ガレ国防相

(イ) 10～12日、ガレ国防相はチリ訪問し、11日、コラスコ智国防相と会談を行い、ハイチへの軍派遣、亜・チリ共同平和軍「南十字星」の展開等について話し合い、亜政府が、ハイチへ麻薬対策のために年内に2隻の船を派遣することを約束した。

### 3. ヨーロッパ連合 (EU)

(1) 11日、タイアナ外相は、亜を訪問したボエル欧州委員 (農業・農村開発担当、デンマーク人) と会談を行った。両者は、亜及びEUに共通した経済、社会、政治的事項、地域・多国間レベルの事項、ドーハラウンド交渉、メルコスール・EU関係の進展等について話し合い、経済協力拡大のための合意書「2007～13年国別枠組計画に関する欧州連合とアルゼンチン共和国との間の覚書」に署名した。

(2) なお、同合意書は、教育の強化、職業訓練、奨学金、中小企業、及び合同委員会における政治対話の各分野にかかる合計6,500万ユーロ (約107.3億円) の協力に関するものである。

### 4. イタリア

(1) 16～17日、タイアナ外相がイタリアを訪問し、16日、ローマにおいて、プロディ首相と会談を行い、二国間関係、地域及び国際社会における重要な 이슈について、意見交換を行った (ダレーマ外相、ラニエリ伊下院外交委員長及びダニエッレ伊外務省在外伊人担当次官補が同席)。

(2) プロディ首相及びタイアナ外相は、伊FIAT社が、印系自動車企業TATA社と提携し、コルドバ州に有している工場において、自動車 (ピックアップ) 製造開始を決定した事などに言及し、伊の亜への新たな投資について強調した。また、タイアナ外相は、「伊とEUが、ラ米に対し更なる関心を向けていくことに政治的意欲を持ち、また亜との関係を引き続き強化していくことに強くコミットしていることを確認した」旨述べ、伊がCAF (アンデス開発公社) の準加盟国になる予定であることに言及した。

(3) 17日、タイアナ外相は、第3回伊ーラ米・カリブ諸国会合における「ラ米統合のための経済協力及び有形無形ネットワーク」パネルに出席し、「EUは重要な影響力を手に入れ、そのEUの中において、伊は重要な立場を占めている。肥沃な伊は亜の基本的アイデンティティ及び発展の起源である」旨述べ、内部及び地域間協力を支持し、

鍵となるのは、生産面での補完、国境を越えた地域レベルでの生産・製造ライン、両地域を物理的に近づけるインフラ計画、生産部門開発、調査、エネルギー、科学技術開発及び大学機関教育システムの統合面における協力であると考えている旨述べた。

## 5. イギリス

(1) 17日、英国は、南極、マルビーナス（フォークランド）諸島及び南ジョージア諸島周辺海域における主権拡大（マルビーナス諸島東側の大陸棚限界を200海里から350海里に延長する等）の申請を国連に提出することを検討していること、及び南極において、亜が主権を主張している区域内の海底100万平方キロメートルにおける主権的管理を申請する予定であることを認めた（注：国際海洋法条約第76条は、大陸棚に関し、(イ)大陸棚が200海里まで延びていなくても、200海里までは大陸棚と認め、(ロ)大陸棚が200海里以上延びている場合は、350海里を超えてはならず、また、2500m等深線から100海里を超えてはならない旨定義し、大陸棚の外側の限界を200海里を超えて設定する意志を有する場合には、大陸棚に関する情報を国連大陸棚限界委員会に提出しなければならない旨規定している）。

(2) 同日、英国の主張に対し、ローマを訪問中のタイアナ外相は、南極、マルビーナス諸島、南ジョージア諸島、南サンドイッチ諸島周辺海域等における亜の主権を拡大するため、亜も同様に、国連に提出する申請書を準備していることを認め、「亜の国益及び正当な権利の擁護のため、我々は国連への申請書作成のため熱心に働いている」旨述べた。

## 6. ウルグアイ

25日、タイアナ外相は、メルコスール共同市場審議会特別会合に出席するために、ウルグアイを訪問した。同特別会合では、2008～12年の間に、メルコスール域内における不均衡を是正するためのプログラムを進めていくことで合意がなされた他、亜及び伯は、ウルグアイが、米国と自由貿易協定締結に向けて、単独交渉を行いたいという要請を改めて拒絶した。

## 7. 要人往来

### (1) 来訪

10月11～14日 ポエル欧州委員（農業・農村開発担当）（タイアナ外相との会談）

### (2) 往訪

10月3日 フェルナンデス大統領候補のブラジル訪問（ルーラ大統領等との会談）

- 10月8日                   タイアナ外相のチリ訪問（フォックスレイ智外相との会談）
- 10月8日                   ペイラノ経済相のブラジル訪問（南米銀行会合への出席）
- 10月10－12日           ガレ国防相のチリ訪問（コラスコ智国防相との会談）
- 10月16－17日           タイアナ外相のイタリア訪問（プロディ首相等との会談）
- 10月20－22日           ペイラノ経済相の米国ワシントン訪問（IMF・世銀年次総会への出席）
- 10月25日                タイアナ外相のウルグアイ訪問（メルコスール共同市場審議会特別会合への出席）